

各種委員会組織運営規則

(目的)

第1条 この規則は、定款第50条の規定に基づき、各種委員会に関し必要な事項を定める。

(常設委員会の設置)

第2条 本協会の事業遂行のため、次の常設委員会を設置する。

- (1) 法務委員会
- (2) 競技会委員会
- (3) 審判委員会
- (4) 技術委員会
- (5) 医学委員会
- (6) フットサル委員会
- (7) 財務委員会
- (8) 女子委員会
- (9) 国際委員会

(専門委員会の設置)

第3条 本協会の事業遂行のため、次の専門委員会を設置する。

- (1) 施設委員会
- (2) リスペクト・フェアプレー委員会
- (3) 監査・コンプライアンス委員会
- (4) 殿堂委員会
- (5) 社会貢献委員会

(組織及び委員)

第4条 各種委員会は、それぞれ委員長及び若干名の委員をもって構成する。

2 各種委員会の委員長及び委員は、本協会役員、地域及び都道府県サッカー協会役員のほか、本協会の事業に関し、知識、経験及び熱意を有する者のうちから、理事会の承認を経て会長が委嘱する。

(委員の任期)

第5条 各種委員会の委員長及び委員の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

2 増員又は前任者の任期満了前に前任者に代わり選任された委員の任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。

3 委員は、その任期満了後においても、後任者が就任するまでは、なおその職務を行わなければならない。

(招集・議長)

第6条 各種委員会は、それぞれの委員長が招集し、その議長となる。

2 各種委員会の招集は、各委員に対し会日の7日前までに通知しなければならない。ただし、緊急の必要があるときはこの限りでない。

(所管事項)

第7条 各種委員会の所管事項は、別表1のとおりとする。

2 各種委員会は、所管事項に関し、理事会の諮問に応じて答申を行い、又は諮問を待たずして意見を具申するほか、理事会の決定に従い、所管事項に関する事業を実施する。

3 2つ以上の各種委員会の所管事項に該当する事項については、合同委員会を開催し、又は委員長間で協議したうえ、理事会に付議するものとする。

(委員長の権限)

第8条 各種委員会の委員長は、次の権限を有する。

(1) 理事会に出席し、その所管事項に関する報告又は意見陳述を行うこと

(2) 緊急を要するため、各種委員会に付議することが困難な事項に関し、自らの判断に基づき決定すること

2 各種委員会の委員長は、前項第2号の決定を行った場合には、次の委員会において、これを報告しなければならない。

(事務局との連携)

第9条 各種委員会は、事業の実施に関しては予め本協会事務局と密接な連絡をとり、事務の円滑な遂行を図らなければならない。

(部会及び分科会)

第10条 各種委員会は、その所管事項に関し、理事会の承認を得て、部会を設置することができる。

2 各種委員会は、部会の業務遂行のため、その各種委員会の委員及び学識経験者をもって構成する分科会を設置することができる。

(有給専門職)

第11条 各種委員会に、有給専門職を置くことができる。

2 有給専門職に関する事項は、理事会が定める。

(細則の制定)

第12条 各種委員会は、その所管事項に関し、理事会の承認を得て、細則を制定することができる。

(特別委員会等)

第13条 本協会の事業遂行のため、第2条及び第3条に定める各種委員会以外で、時限的に設置する特別委員会等は、理事会にて定める。

(改正)

第14条 本規則の改正は、理事会の決議を経て、これを行う。

(施行)

第15条 本規則は、2017年4月13日から施行する。

別表1 [各種委員会の所管事項]

常設委員会

1. 法務委員会

- (1) 各種規程・規則の草案
- (2) 各種法務関連政策に関する事項
- (3) サッカー界における法秩序の維持
- (4) 選手の資格に関する事項

2. 競技会委員会

- (1) 各種大会に関する事項と試合の監理
- (2) FIFA、AFC及びEAFFの各種大会並びにJリーグ等の国内大会の日程調整に関する事項

3. 審判委員会

- (1) 競技規則の解釈、適用
- (2) 審判員の養成
- (3) 国際審判員に関する事項
- (4) 公式競技のための審判員の派遣に関する事項
- (5) 審判員の賞罰に関する事項
- (6) 審判指導者に関する事項

4. 技術委員会

- (1) 日本を代表するチームの監督候補者の推挙
- (2) 日本を代表するチームの編成案の作成
- (3) 日本を代表するチームの強化
- (4) その他日本を代表するチームに関する事項
- (5) 選手の育成、強化に関する事項
- (6) ユース年代の普及に関する事項
- (7) 強化方針に基づく技術指導
- (8) 指導者の養成
- (9) 指導に関するビデオ、書籍等の認定、推薦
- (10) その他技術指導に関する事項

5. 医学委員会

- (1) 選手の健康管理、傷害予防及び救急処置に関する事項

- (2) アンチ・ドーピングに関する事項
- (3) 日本を代表するチームの医事管理に関する事項
- (4) 指導者等に対する上記すべての教育及び普及に関する事項
- (5) 本協会主催の試合及び大会における医事管理に関する事項
- (6) その他すべての医学及び健康に関する事項
- 6. フットサル委員会
 - (1) フットサルに関する事項
 - (2) フットサルに関する大会及び試合の監理
 - (3) ビーチサッカーに関する事項
 - (4) ビーチサッカーに関する大会及び試合の監理
- 7. 財務委員会
 - (1) 毎年度予算案及び決算案の審議
 - (2) 資金運用、借入等資金計画に関する検討
 - (3) 長期財政計画の審議
 - (4) その他財務及び経理に関する重要事項の審議
- 8. 女子委員会
 - (1) 女子サッカーの強化・育成・普及に関する事項
- 9. 国際委員会
 - (1) F I F A、A F C及びE A F Fその他外国団体との交渉
 - (2) アジア協力に関する事項
 - (3) 上記以外の国際関係

専門委員会

- 1. 施設委員会
 - (1) 競技会の施設関係の指導
 - (2) 施設及び用具に関する規程基準の研究指導
 - (3) 施設に関する情報の収集
 - (4) 施設の増加、改善対策
 - (5) ナショナルトレーニングセンター（N T C）に関する事項
- 2. リスペクト・フェアプレー委員会
 - (1) リスペクトに関する事項
 - (2) フェアプレーに関する事項
 - (3) 差別、暴力対策に対する事項
- 3. 監査・コンプライアンス委員会
 - (1) 監査に関する事項
 - (2) コンプライアンス等に関する事項
- 4. 殿堂委員会
 - (1) 日本サッカー殿堂掲額者の候補者の選考
 - (2) 日本サッカー殿堂に関する事項
- 5. 社会貢献委員会
 - (1) 社会貢献に関する事項